

ドイツのカスペル劇より

# 魔法のホウキ

作 藤原玄洋

でてくるもの

カスペル

バッケル(魔女)

おばあさん

ネ コ(魔女)

司会

スタッフ

作 藤原玄洋

演出

演出助手

演出記録

舞台監督

舞台美術

人形美術

音楽

音響効果

制作

バッケルは、吹き替え用に2体必要。

おばあさんは、1体でできるようになっている。カスペルは、伝統的なスタイルになっているので、美術の際には元の形を参考にする。(川尻泰司記念日本人形劇研究所のホームページを参照)

© FIJIWARA Gen'yo 2007

## オープニング

——司会、下手より、パネル前に登場。

司会　こんにちは、みなさん。これからご覧いただく人形劇は、ドイツのカスペル劇「魔法のハウキ」です。では、はじまり、はじまり——。(拍手)

——司会、下手に退場。

## M1 司会退場で

### 第1コマ　おばあさんの家

——春の朝。

音楽聞こえる。

パネルが開く。上手奥の部屋の壁には鏡、下手ソデは戸口。

おばあさん、壁の奥上手から登場。

おばあさん　カスペル、カスペル。(間)カスペル、カスペル。

——カスペル、下手、戸口より登場。

カスペル　(声)はい。(入ってくる)おばあさん、おはようございます。

おばあさん　あーあ、おはよう。お前、その花はどうしたんだい？

カスペル　お天気がよかったから、外で花を摘んできたんだ。おばあさんに、あげようと思っただけ。

おばあさん　(花を受けとり)カスペル、お前はやさしい子だねえ。ありがとう。  
とう。

カスペル　おばあさん、なんか、ご用？

おばあさん　そうそう。お使いに行っておくれ。

カスペル　うん。

おばあさん　お昼のパンと、チーズを買って来ておくれ。(お金を渡す)お金  
金を落とさないようにね。

カスペル　わかってるよ。いつてきまーす。

——カスペル、下手、戸口より退場。

おばあさん (戸口に行く) おつりは、ちゃんともらうんだよー。(戻りながら)  
ら 元気な子だねえ、カスペルは……。さてと、花がしおれない  
うちに、花ビンに生けましょう。

——おばあさん、壁の奥に退場。

ややあつて、ノックの音。

おばあさん、再び登場。

おばあさん どなたかな？

——バツケル、戸口より登場。効果音。

バツケル おはよう、ばあさん。

おばあさん わっ。お前は、魔女のバツケル。

バツケル そうともさ。

おばあさん お前なんぞに用はない。さつさと消えておくれ。

バツケル イッヒヒヒヒッ。こりや、威勢のいいばあさんだ——。

おばあさん さつさと、そのホウキで飛んで行っちゃいな。

バツケル ごあいさつだねえ。あの生意気なカスペルはどこにいるんだ

い？

おばあさん カスペルは、今いないさ。

バツケル イッヒヒヒヒッ、イッヒヒヒヒッ。そりや、好都合。

おばあさん もうすぐ、カスペルが帰ってくるよ。

バツケル そりや、大変。いそがなくちや。やい、ばあ婆。

おばあさん なんだい、急に大きな声で。

バツケル お前と、ワシと入れ替わってもらおうよ。

おばあさん 入れ替わるって？

バツケル そうとも、お前が魔女の姿になって、ワシがお前になるのさ。

おばあさん わたしが、魔女に？ いやだ、いやだ、やめとくれ。

バツケル うるさい！ (ホウキを回しながら) レナーニ・ジョーマー、レ

ナーニ・ジョーマー、レナーニ・ジョーマー、レナーニ・ジョー

マー。(効果音)

おばあさん わーっ。(魔女になる。人形をはめ代えるは大変ですから、別の人が代わりに人形を出して、声は吹き替えて)

バツケル イッヒヒヒヒッ。お前は、今日から、りっぱな魔女さ。

おばあさん やめとくれ。(鏡を見る) あー、魔女だ。  
バツケル イツヒヒヒヒッ。とつとと、出て行きな。  
おばあさん カスペル、カスペルー。

——おばあさん、下手、戸口より退場。

バツケル イツヒヒヒヒッ。さーて、カスペルが帰ってくる前に、今度  
は、ワシが婆に変身だ。(ホウキを回しながら) レナーニ・バーバー、  
レナーニ・バーバー、レナーニ・バーバー。(効果音と共に、おばあさん  
になる。おばあさんの人形は、とりあえず別の人が出します)。これでよしつと。  
ホウキが見つかつちや大変だ。ここにかくしておこう。(ホウキを壁  
の下手側にかくす。隠れたときに、バツケル役の人が、おばあさんの人形をはめる)

カスペル(声) おばあさん、ただいまー。買い物に行ってきたよお。  
バツケル (壁から出てきて) イツヒヒヒヒヒッ。(ケコミ中央で、観客に) お前た  
ち、カスペルには、だまつてるんだよ。よい子は、約束を守らな  
くちやあね。イツヒヒヒヒッ。

——カスペル、下手、戸口より、紙袋を持って登場。

カスペル 買ってきたよう。

バツケル ごくろう。  
カスペル おばあさん、なんだか声が変わだよ。  
バツケル そうかね。気のせいじゃ。ワシは、お前のばあさんさ。  
カスペル おばあさん、なんだか話し方も変だよ。  
バツケル そんなことはないさ。(観客に) しいっ、静かに。  
カスペル (観客の声に) 魔女って、いつてるよ。(観客に) 魔女なの？  
バツケル 気のせいさ。カスペル、お使いに行っておくれ！  
カスペル えー、ボク、いま行っただけじゃやないかあ……。  
バツケル 口答えを、するんじゃない。(傍白) この家をワシの家にする  
んだ。カスペルを追い出さなくちや。(カスペルに) いま用意をする  
から、そこで待つといで。

——魔女、壁の奥へ、退場。

カスペル なんだか、おばあさん、変だよ……。いつものやさしいおば  
あさんじゃない。(観客に) ねえ、みんな。あれは魔女？ やつぱり、  
魔女なの？ あのおばあさんは、魔女なの？ (ホウキを見つけ) あ  
っ、こんなところに魔法のホウキが……。やつぱり、魔女だった

## M2

追いかける TM

んだ。大変、おばあさんを助けなくちゃ。

——魔女、壁の奥へ、退場。

カスペル　　なんだか、おばあさん、変だよ……。いつものやさしいおばあさんじゃない。(観客に)ねえ、みんな。あれは魔女？ やっぱり、魔女なの？ あのおばあさんは、魔女なの？ (ホウキを見つめ)あつ、こんなところに魔法のホウキが……。やっぱり、魔女だったんだ。大変、おばあさんを助けなくちゃ。

——カスペル、戸口から出て行く。

入れ違いに、魔女、荷物を持って登場。

## バツケル

カスペル、カスペル。どこに行ったんだい、あの小僧っ子は？ (探し回る)どんなに逃げたって、魔女のホウキで、ひとつ飛びさ。(隠したホウキを見て)あ、ワシのホウキがない。大事なホウキがない。ちくしよめ、小僧っ子のヤツ、承知しないよ。

——音楽。

魔女、戸口から追いかけて退場。

パネル、閉まる。

## 第2コマ

## 町への道

——カスペル、上手より、パネル前に登場。

カスペル　　早く、おばあさんを助けなくちゃ。よし、このホウキに乗ってひとつ飛びだー。(ホウキに乗るが、うまくいかない)ここら、ホウキいうことを聞け。そら、そら、そらーつ。ホウキよ、飛べー。(効果音)

——カスペル、ホウキに乗って下手に退場。

## M3

ホウキで飛ぶ

## 第3コマ

## 町の大通り

——パネル、開く。

町の大通り。上手パネルは立木。下手パネルは建物。中央奥には噴水。

魔女の姿のおばあさん、上手より登場。

おばあさん　ああ、どうしよう。魔女になってしまった。ああ、もう元には戻れない……。 (下手ケコミで、うづくまる)

——カスペル、ホウキに乗って上手より登場。舞台ひと回りして、上手寄りに落ちる。

カスペル　生まれ、とまれー。ホウキよ、生まれ！ (落ちる音) あいて

つてつ、てーてつ。(起きあがり) おばあさん、おばあさん。

おばあさん　あー、カスペル……。助けておくれ……。

——おばあさんに、気づく。

カスペル　あつ、魔女がいる。いや、これは、ボクのおばあさんだ。

おばあさん　あつ、カスペル……。助けておくれ……。

カスペル　やつぱり、ボクのおばあさんだ。

おばあさん　カスペル、ホウキの魔法で、魔女にされちまったんだ。

カスペル　ホウキ？　ホウキで？　(ホウキを取りに行く) 待つて、まつて。

このホウキで、助けてあげる。

おばあさん　早くしておくれ。

カスペル　このホウキか？　でも、おばあさんに戻す呪文がわからない

よ。

おばあさん　カスペル、助けておくれ……。

カスペル　呪文、じゅもんはー？　そうだ、おばあさん、魔女はなんて

呪文をかけたの？

おばあさん　呪文、じゅもん？　えーとー、確か「レ、ナー、ニ、ジョ

ーマー……、レナーニ・ジョーマー」だったよ。

カスペル　レナーニ・ジョーマーだね。よし、やってみよう。(ホウキを回

しながら) レナーニ・ジョーマー、レナーニ・ジョーマー、レナー

ニ・ジョーマー！ (失敗の効果音) あれっ、呪文がきかないぞ。お

つかしいなあ……。

——魔女のおばあさん、上手パネルからのぞき込む。

バツケル　あー、カスペルのヤツ、わしのだいじなホウキを使いおつて

カスペル よし、もう一度やつてみよう。(ホウキを回しながら) レナー

ニ・ジョーマー、レナーニ・ジョーマー、レナーニ・ジョーマー、  
レナーニ・ジョーマー、レナーニ・ジョーマー!

——成功の効果音、魔女のおばあさんが、元の魔女に戻る。

バツケル わーっ。カスペルの呪文でもとの姿に戻ったわい。ワシのだ

いじなホウキを取り戻さなくちゃ……。 (かくれる)

カスペル ダメだ……。ボクの呪文じゃ、ダメなのかな……。? (考  
える) そうか、この呪文は、魔女になるための呪文だったんだ。(つぶやく)

「レナーニ・ジョーマー……。レ、ナー、ニ、ジョー、マー……。」 (考える)  
わかったぞ! 呪文がわかったぞ! 「魔女に、なれ」を逆さまにいつて  
るんだ。だから……。おばあさんにするには……。 「ばばあに、なれ」の反  
対だから……。えーとー、「レナーニ・バーバー」だ! よし、おばあさ  
んいくよ。(ホウキを回しながら) レナーニ・バーバー、レナーニ・バーバー、  
レナーニ・バーバー。(成功の効果音)

——おばあさん、魔女から元の姿に戻る。

おばあさん ああーっ。カスペル、戻ったよ。元に戻ったよ。

カスペル よかった、よかった。おばあさん、大丈夫?

おばあさん カスペル、ありがとう。

カスペル こんなホウキは、もういらない。燃やしてしまおう。

——魔女、上手よりいそいで登場。

バツケル やい、カスペル! ワシのホウキをお返し!

カスペル いやだよ。お前は、また悪いことに使うんだろう?

バツケル うるさい。ワシのホウキだ。どう使おうと勝手さ。

カスペル ダメだよ。お前は、きつと、また悪いことに使うに違いない。

こんなホウキは、燃やしてしまおう。

バツケル こら、ワシの大切なホウキを——やめてくれ。返しやがれっ。

——魔女、ホウキに飛びかかる。

カスペル おっと、そうはいくもんか。(逃げる)

バツケル ワシのホウキをお返し!

カスペル お前なんか、返すもんか。(ホウキで、突きとばす)

バツケル お願いだから、返しておくれ。ワシの大切なホウキを……。

M4  
エンディング

(うづくまる)

カスペル そうか、こいつが魔女でいるかぎり、悪さをするに違いない。よし、わかったぞ。こいつを、かわいいネコに変えてやろう。そしたら、もう悪さはできないぞ。(ホウキを回しながら) レナーニ・コーネー、レナーニ・コーネー。(効果音)

——魔女、ネコになる。

ネコ(魔女) ミヤオー。(おばあさんに、すり寄る)

おばあさん おや、かわいい子ネコだこと。(頭をなせる)

ネコ(魔女) ミヤオー。(おばあさんに、すり寄る)

カスペル よかったね、おばあさん。かわいい友だちができて。

おばあさん ありがとう、カスペル。

カスペル ハッハハハ。お腹すいちやった。

おばあさん じゃ、うちに帰って、お昼にしましょう。ネコちゃんもお

こぼ。

カスペル ネコに名前を付けなくちゃね。

おばあさん どんな名前がいいかね。

カスペル うちへ帰って考えよう。

♪ カスペル カスペル 元気な子ども

明るく 元気な カスペル

ひねくれ魔女なんて こわくない

ホウキの魔法で かわいい子ネコ

カスペル カスペル 元気な カスペル

——全員、上手に退場。

歌のうちに、パネル、閉まる。

## エンディング

——司会、下手より、パネル前に登場。

司会 いかがでしたか ひねくれ魔女は、かわいい子ネコになってしまいましたね。もう、悪いことはできなくなって、安心ですね。



でも、おばあさんのおかずの魚を、こっそり食べちゃうイタズラを、ときどき、しているみたいですよ。これで、ドイツのカスペル劇「魔法のホウキ」のお芝居はおしまいです。最後に、人形をつかったみなさんに出てきてもらいましょう。

——音楽。出演者、上・下から歌いながら登場。

歌い終わって。

司会

（人形の紹介をする）元気なカスペルです——。やさしい、おばあさん。ひねくれ魔女のバツケル。そして、かわいい子ネコ。（カスペルに）なんて名前になったの？

カスペル

ミーシャって名前にしたんだ。

司会

そう、カワイイ名前ね。それじゃあ、みなさん。今度お会いするときは、さようなら。

みんな

さようなら——。

ネコ

ミヤオー。

——全員、上・下に分かれて、手を振りながら退場。

——おわり——

あとがき

この作品は、ドイツの伝統的なカスペル劇「魔法のホウキ」を元に作りました。カスペル劇は、イタリアのプルチネラ劇、イギリスのパンチ劇の仲間で、それぞれ国を代表する人形劇のキャラクターです。ゲーテは、このカスペルのキャラクターをもとに、有名な大作「ファウスト」の戯曲を作りました。

カスペルは、ドイツ人なら誰でも知っている、親しみあるキャラクターで、プルチネラが、オーストリーに渡って、作られたものと考えられています。元々は、道化の人形ですが、この中では、元気な少年として描かれていますから、伝統的なカスペルの特長を生かして、人形を作ってください。

また、4人で上演できるようになっています。変身のために、魔女は吹き替えの人形がいりますから、同じものを2体用意する必要があります。おばあさんについては、1体でできるように工夫されています。脚本をよく読んで、香盤(俳優出場表)を、しっかり作ってください。

2007年5月

藤原玄洋